

2014
12
No. 142

しゃっきー



しゃっきーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です

ほかの貸付制度が
利用できない方の
生活安定を支援します
生活福祉資金貸付制度

■小地域ネットワーク事業
サロン活動を支援します

■12月1日から歳末たすけあい
運動がはじまります

■ボランティア通信「なかよし」
ボランティアセンターの活動を
紹介しますほか

10月15日、9名の受講者が介護
職員の資格である介護職員初任者研
修を終了しました。

介護職員初任者研修 閉講式

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会



[表1] 対象となる年間収入の目安

世帯人員	年間世帯収入
1人世帯	360万円程度まで
2人世帯	420万円程度まで
3人世帯	480万円程度まで
4人世帯	540万円程度まで
5人世帯	600万円程度まで
以下一人あたり加算額	60万円

ほかの貸付制度が 利用できない方の 生活安定を支援します

生活福祉資金貸付制度

生活福祉資金は、ほかの貸付制度が利用できない低所得者世帯や障がい者世帯、高齢者世帯を対象に、資金貸付と必要な相談支援により、経済的自立と生活の安定を目指し、市町村の協力が窓口となって運営しています。

利用できる方

□低所得者世帯

世帯の収入が一定基準以下の方(表1)

□障がい者世帯

①身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳のいずれかの交付を受けている方の属する世帯

②障害者総合支援法によるサービスを利用している方の属する世帯

□高齢者世帯

65歳以上の高齢者の属する世帯(資金によって療養又は介護が必要なおことが条件)

5つの基本要件

①世帯単位の貸付

個人ではなく、世帯を単位として貸し付けるものです。会社組織や団体に対する貸付は認められません。

②連帯保証人が必要

原則として連帯保証人が必要です。ただし、連帯保証人を立てられない場合でも利用できますが、利息が加算されます。

③民生委員の相談支援

民生委員の相談支援を受けることが必要になります。

④ほかの貸付制度優先

ほかの貸付制度を利用できる場合は、ほか制度を活用してもらいます。利子等の貸付条件を理由として利用することはできません。

⑤事後申請は貸付対象外

すでに払い終わっている経費や契約が済んでいる経費は貸付対象になりません。



低所得者資金貸付制度もあります

生活福祉資金のほかにも、厚岸町社協独自の貸付制度があります。急にまとまったお金が必要になったという低所得者世帯を対象に無利子で資金をお貸しします。

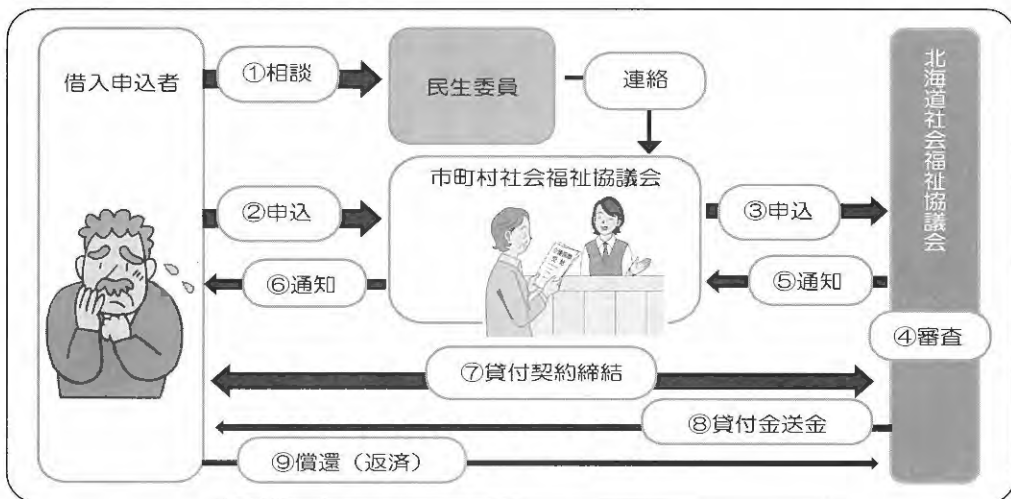
- ◆貸付限度額／50,000円
- ◆返済利息／無利子
- ◆返済方法／月賦などで2年以内の返済
- ◆利用方法／まずは担当地区の民生委員又は社協総務地域課

(担当：米内山・中町)まで相談ください。

◆問い合わせ

厚岸町社協総務地域課
☎0153-52-7752

[図]相談から貸付決定までの流れ



貸付資金の種類

資金の種類は、大きくは総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金及び要保護世帯

向け不動産担保型生活資金の5種類に分けられます。

不動産担保型生活資金は厚岸町になじまないため省略しますが、3つの資金について簡単に紹介します。

■総合支援資金

失業などにより、日常生活に困難を抱えているケースの生活立て直しを応援します。生活再建までの間の生活費をお貸しする「生活支援費」、敷金礼金等の賃貸契約を結ぶためにお貸しする「住宅入居費」、生活再建に一時的に必要な費用をお貸しする「一時生活再建費」があります。

■福祉資金

日常生活を送るうえで、または自立生活を助けるために、一時的に必要なと見込まれる費用をお貸しします。「福祉費」と「緊急

小口資金」があります。

■教育支援資金

学校の就学に必要な経費をお貸しします。高等学校、専門学校、短期大学及び大学就学時に必要な経費「教育支援費」と、入学時に必要な経費「就学支度費」の2つがあります。



限度額と条件

各種資金の貸付限度額と条件については下表のとおりです。(表2)

貸付決定までの流れ

上の図が貸付決定までの流れを表したもので、お住まいの地域の民生委員、または厚岸町社協への相談支援からはじまります。まずはお気軽に相談ください。

[表2]資金の種類ごとの「限度額」と「条件」

資金種類	貸付限度額	据置期間	償還期間	利子
総合支援資金				
生活支援費	単身 月150,000円 複数 月200,000円	最終貸付日から 6月以内	20年以内	無利子 (連帯保証人なし 年1.5%)
住居入居費	400,000円			
一時生活再建費	600,000円			
福祉資金				
福祉費	5,800,000円	6月以内	20年以内	無利子 (連帯保証人なし 年1.5%)
緊急小口資金	100,000円	2月以内	8月以内	
教育支援資金				
就学支度費	500,000円	卒業後 6月以内	20年以内	無利子
教育支援費	高校 月35,000円			
	専門 月60,000円			
	短大 月60,000円			
	大学 月65,000円			

※上記の条件のほかにも、資金種類により、いろいろな条件や必要添付書類がありますのでお問い合わせください。

小地域ネットワーク活動 サロン活動を支援します

社協では、身近な地域での支えあい活動である小地域ネットワーク活動やサロン活動を支援します。

近年の地域社会をみれば、高齢者の孤立や引きこもり、悪質商法の消費被害、高齢者や児童への虐待などの生活課題が潜在化し、地域での安心な暮らしを守るために、「地域のつながり」が改めて注目されています。

小地域ネットワーク活動やサロン活動は、自治会などの小さな地域単位において「食事会・茶話会」といった「集う」こと、また「声かけ訪問」といった「見守る」活動などから、自然な「地域のつながり」の構築と、隠れている地域の困りごとを発見する活動です。

今回は、その活動に対する社協の取組みについて、紹介します。

財源を支援します

▼たすけあいチーム助成

自治会単位を対象に、地域ぐるみでの支援体制づくりに2万5千円を上限に助成するもので、小地域ネットワーク活動やサロン活動に活用できます。

▼ほか助成金の紹介・推薦

地域の活動に対しては、さまざまな助成金があり、その情報提供や推薦を社協が行います。

活動のための指導・助言を行います

「どんな活動をしていいかわからない」「活動中だけど行き詰っている」など、活動をするうえで不安や悩みに対して、一緒に考えたり、適切な指導・助言を行います。

活動のための場所や用具を貸出します

人が集まり、会話するだけでもサロン活動は成り立ちますが、たまには「みんなでレクリエーションで楽しみたい」など、そんな時には、交流の場の提供や用具貸出を行います。

用具の使い方やレクリエーションの進め方がわからない場合は、指導員として職員を派遣することも可能です。

お気軽に社協総務地域課まで相談ください。
(☎52・7752)



サロン活動で楽しめるレクリエーション



みんなが集まるサロン活動で楽しめる2つのレクリエーションを紹介します。上の写真が「フロアカーリング」、右の写真が「室内ペタンク」

フロアカーリング

季節や天候に左右されない室内競技で、木製のターゲットを的に、キャスター付きの木製のフロッカーを送球し、得点を競うもので、ルールも簡単。子どもからお年寄りまで、男女を問わずだれでも手軽に楽しめるニュースポーツです。

室内ペタンク

小さな玉にゴム製のボールを、いかに近づけるかという、一見単純しかし、頭を使う楽しいス

ポーツです。投げる場所を定め、2チームがボールを投げ合い、すべてのボールを投げ終わった時点で、相手のどの玉よりも目標球に近かったボールの数がそのまま点数となります。



みなさんの 心あたたまる募金を

12月1日から歳末たすけあい
運動が始まります

赤い羽根でおなじみの共同募金運動は、10月1日から12月31日まで全国一斉に運動を展開しているところですが、12月1日からは、さらに「みんなでささえあうあつたかい地域づくり」を合い言葉に歳末たすけあい運動の募金募集が始まります。

歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができることを目的に進めています。

厚岸町では…

見舞金贈呈事業として、地域のみなさんから寄せら

れた歳末たすけあい募金を財源に、中立的な立場の厚岸町共同募金委員会審査委員会で対象範囲や金額の審査を行い、全額を、重度の障がいを持ちながら在宅で暮らす方々に、少しでも「明るい気持ち」で新年を迎えられるよう、民生委員を通じて、義援金を贈呈しています。

■運動期間
12月1日から12月31日までの一ヶ月間

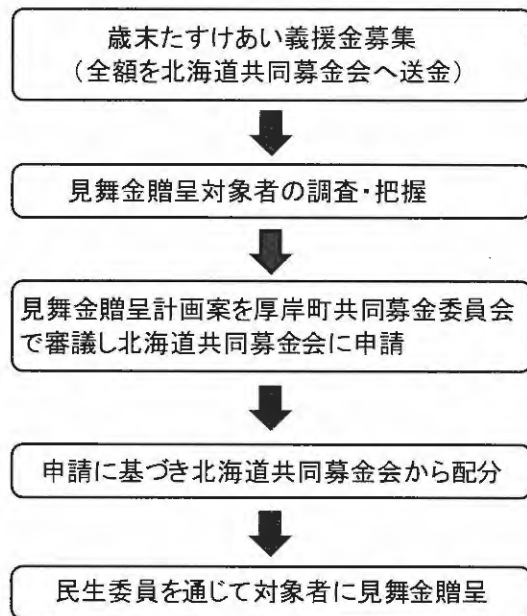
■受け渡し期間
担当地区の民生委員を通じて、12月19日以降に予定しています

■義援金目標額
250,000円

■運動の流れ
右のフロー図参照

■義援金受付窓口
厚岸町共同募金委員会事務局（梅香2丁目1番地 福祉センター内） ☎527

◆運動の流れ（フロー図）



運動のしくみは…



あつけし牡蠣まつりで赤い羽根街頭募金

10月12日、たくさんの観光客などで賑わった「あつけし牡蠣まつり」会場で、赤い羽根街頭募金を実施しました。

午前に役職員や助成を受けている福祉団体、午後からは厚岸

翔洋高校生徒の皆さんで街頭に立ち、入場者から募金協力いただきました。

この一日で、45,968円の募金が集まりました。あたたかい善意ありがとうございます。





[左]何枚もの折り紙を組み合わせ作られた力作が多かった町老連会員たちの町民文化祭作品

[右]展示パネルを見ながら環境保護活動を学ぶ身障者会員



[上]こう福祉21のコーナーで白杖を手に恐る恐る足を運ぶ体験者

活動での成果品を出展 町老連おりがみ教室

11月1日～3日の3日間で開催された町民文化祭(作品展示会)に、町老連おりがみ教室に通っている老人クラブ会員たちが作品を出展しました。

出展作品は、おのおのが自由テーマで制作したもので、毎月1回開催している「おりがみ教室」で学んだ基本的な技術を生かしながら、自らのアレンジが加えられ、色とりどりの折り紙も相まって作品が会場を彩っていました。

町老連おりがみ教室は、町内に在住の近藤法子さんが講師を務め、開かれている事業で、老人クラブ会員であればどなたでも参加できます。ただし、年度途中からの参加はできませんので、次年度の教室をお待ちください。

訪問地で見聞広める 身体障害者福祉協会厚岸町分会町外研修

身体障害者福祉協会厚岸町分会町外研修が11月2日・3日の1泊2日で、網走管内斜里町において行われました。

この研修は、町外の街に出向き、その地方の見聞を広めるとともに、地域で閉じこもりがちな障がい者の社会参加の場となるよう、毎年行き先を変えて実施しています。

今回は、会員4名が参加し、知床世界遺産センターなどを訪れ、知床の自然や環境の保全を図る清掃活動の取り組みを学び、参加者からは「世界遺産登録までの経緯や環境保護活動を知ることができた」との感想が寄せられるなど、有意義な研修となりました。

障がいへの理解を深める 障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」

障害者(児)ふれあいフェスティバル「こう福祉21」が、11月9日、社会福祉センターで、多くのボランティア協力のもと盛大に開かれました。

障がい者に関わりのある活動を紹介する「ポスターセッション」や「壇上発表」のほか、盲導犬とふれあうコーナーや、真龍中学生徒による台詞なしで動きや表情で表現するパントマイムなど、今年も会場を盛り上げ、町内外から500名が参加する大イベントとなりました。

今年度は、新たに白杖をつかって視覚障がいの疑似体験をしたり、誘導を体験するコーナーも設けられ、障がいへの理解を深めるきっかけとなりました。

[ニュース&トピックス] NEWS&TOPICS

☆社協の行催事の他、町内福祉団体の話題などをまとめてお伝えします。



[上]パークゴルフ大会の男女優勝者、濱谷さん(左から2人目)、村上さん(中央)



[上]レスキューキッチンの大釜に、最後に味噌を入れ豚汁 200 人分が完成

[下]会員の高齢化が深刻である遺族会の情勢報告に真剣に耳を傾ける会員



パークゴルフで募金運動PR 赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会

10月から始まる共同募金運動に先立て9月28日(日)、赤い羽根チャリティーパークゴルフ大会を宮園運動公園パークゴルフ場で開催し、男女あわせて54名がプレーを楽しみながら、募金協力を行いました。

当日、募金箱に集まった44,354円を、主催者の柿崎社協副会長から厚岸町共同募金委員会会長に手渡しました。(上位成績は次のとおり)

【男性】優勝：濱谷四男、準優勝：高嶋一彰、3位：大崎広也、4位：菅原眞三、5位：日浦静

【女性】優勝：村上美代子、準優勝：菅原道子、3位：百々ヒデ、4位：大崎輝子、5位：長谷川美千子

尾幌防火クラブと炊き出し 厚岸町防災訓練

10月19日、若竹第2埠頭を主会場に行った厚岸町防災訓練で、尾幌防火クラブと社協ボランティアセンターが共同して、災害時炊き出し機器(レスキューキッチン)を活用した炊き出し訓練を行いました。

同クラブからは6名の会員が協力。5年間継続してきた炊き出し訓練は手際よく、1時間で200人分の豚汁を作りました。出来上がった豚汁は、集まった参加者たちに振る舞われ、ほんの15分程度で大きな釜が空っぽになってしまいました。

同センターでは、機器に使い慣れてもらおうと、レスキューキッチンの貸出しを行っていますので、興味のある団体は連絡ください。

地区の遺族が集い交流する 釧路市・釧路地区連合遺族会 合同研修会

釧路市・釧路地区連合遺族会合同研修会が10月30日・31日の1泊2日で、弟子屈町川湯観光ホテルを会場に行われました。

この研修は、戦没者に対して敬意と感謝を忘れず、残された家族に対する処遇改善の実現と会員相互の交流を目的に毎年開催されている事業で、厚岸町から3名が参加しました。

研修会では、遺族会を取り巻く情勢報告などの講演のほか、平成27年6月15日に償還期限をむかえる特別弔慰金の継続・増額要望などを確認しました。

また、夜には交流会が開かれ、他町村の会員と一緒に、食事をしながら会話が弾み、親睦を深めました。

安全に子育て支援活動を行う ファミリーサポート事業講習会の開催

ファミリーサポート事業は、地域の住民同士が子どもを預かることで、地域の中に安心して子育てをする環境が生まれるように子育てを支援していく、会員登録制の事業です。

この事業では、育児の援助を受けたい依頼会員を、援助を行う提供会員、依頼・提供の両方を兼ねた両方会員で支援活動を行っています。

会員は、随時募集していますが、提供会員・両方会員は援助を行うにあたり、必要最

低限な知識や技術等を学ぶ講習会の受講が必要です。

子育て支援を考えている方、活動に興味がある方は、ぜひ参加願います。

■日 時

- ①平成27年2月3日(火)
9:00~11:30
- ②平成27年2月4日(水)
9:50~11:30

■場 所

厚岸町保健福祉総合センター
(あみか21)

■参加費

無料

■持ち物

筆記用具

※資料は当日に配布

■申し込み先

平成27年1月28日(水)まで、あつけし子育てサポートセンター(担当:杉本)に連絡ください。また、不明な点があれば相談ください。

TEL 52-7752



[上] 栄養士から年齢別の食事量やアレルギーに対応する方法を受講します



[上] 真竜保育所内の乳児保育室を見学し、乳児の接し方等を学びます

ボランティア活動助成金のお知らせ

中央ろうきん助成プログラム

中央労働金庫では、全国のボランティア活動を目的とした団体や、ボランティア活動実践団体への助成を実施しています。

この助成対象は、地域住民が自発的に参加できる活動、住みよい環境を作る活動、自立支援活動を行うための活動費として、30万円を限度に助成されます。

■申請方法

助成申請書に必要事項を記入し、所定の必須添付書類とともに、中央労働金庫まで郵便で送付

■助成対象期間

平成27年6月から平成28年5月までの活動

■申込み受付期日

平成27年1月15日(木)まで

■問い合わせ先

社協ボランティアセンター(担当:杉本)
TEL 52-7752

ながよし

厚岸町ボランティアセンター
088-1115 厚岸町梅香2丁目1番地
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044

ボランティアセンターの活動を紹介します

厚岸町社協では、厚岸町ボランティアセンターを設置し、ボランティア活動やボランティア実践団体の支援を行っています。

また、活動したい方と活動を必要とする方の相談を受け、支援を必要としている方への紹介と、

住民が安心して暮らすことができるように、さまざまな支援を行っています。

ボランティア通信では、今回から複数回にかけて、ボランティアセンターで行っている活動を紹介します。

ボランティア登録の促進

ボランティアについては、活動中の個人・団体の登録を随時受け付けています。登録する時は、事業の目的を理解したうえで登録カードに個人情報、希望する活動内容を記載し、登録していただきます。登録することで、社会福祉センター内の会議室や機材などの無料貸出が可能となり、ボランティア活動保険に加入します。

ボランティア関係の情報提供

ボランティアに関する広報活動として、さまざまな情報や各種活動の周知・PRや、ボランティア活動助成金を、広報誌を利用し情報提供しています。

また、町内外で研修会等を開催する場合は、登録している個人・団体ボランティアの案内や、事業への協力を依頼します。

地域ボランティアの育成

地域の福祉ニーズにあったボランティア育成の推進、活動の知識・技術の向上に努め、活動参加へのきっかけづくりとして、初めての方でも参加しやすい研修や講座を実施します。

テレビ電話を利用し安否確認

社協ボランティアセンターでは、登録している傾聴ボランティアが、一人暮らしの高齢者を対象に、町内無料のテレビ電話を利用し、定期的に電話をかけ、顔を見ながらコミュニケーションを図り安否確認を行う、ハートコール事業を行っています。

このハートコール事業は、利用者が平日で希望する時間帯を指定でき、現在4名の傾聴ボランティアが16名の利用者に、週1回～3回の頻度で活動を行っています。現在、利用者並びに傾聴ボランティアを、随時募集していますので、興味がある方は、お気軽に連絡ください。

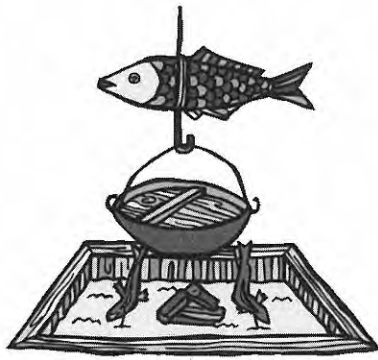


[上] 昨年度は施設現場で活動するボランティアの意義と役割を学びました

■連絡先

社協ボランティアセンター
(担当：杉本)
電話：52-7752





編集後記

■社協職員の視察研修で茨城県、千葉県、東京都へ行ってきました。福祉サービスや活動が充実している市町村社協を訪れ、地域住民主体の取組みを学び、今後の活動に繋がるヒントが見つかりました。東京に行ったのは高校の修学旅行以来。高校生だった頃を思い出し、懐かしく、とても有意義な研修でした。(杉本)

■11月9日の「こう福祉21」で社協の事業紹介も兼ねて壇上発表をさせてもらった。緊張するのも忘れるくらい驚いたのは「手話通訳」。打ち合わせもなしに、スラスラと通訳をしてもらう姿を横目で見ながら、プロの凄さを実感しました。(米内山)

厚岸町社協広報誌

しゃっきー

2014. 12/No. 142

【編集】 斉藤 健一
米内山 紘輝
杉本 裕樹

社会福祉法人
厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752
FAX 0153-52-6044
URL <http://www6.plala.or.jp/akkeshisyakyou/>

お知らせ情報

TEL 52-7752 FAX 52-6044

社協業務・センター貸館は6日から 社協の年末年始業務

社協の年末年始の業務についてお知らせします。

■社協事務局／12月31日から1月5日まで年末年始休み。1月6日から通常通り業務開始

■社会福祉センター貸館／12月29日から1月5日まで閉館。1月6日から通常通り開館

■訪問介護事業所(ヘルパー)／年末年始も業務を行っていますので、ご用の際は相談ください。☎53-3811

■居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)／年始は1月6日から通常通り業務開始。急用の際は☎53-4637

■在宅老人デイサービスセンター／12月31日から1月5日まで年末年始休み。1月6日から通常通り業務開始

■特別養護老人ホーム「心和園」／年末年始も業務を行っていますので、ご用の際は相談ください。☎52-6373

お気軽に相談を 福祉中央相談所

民生委員が無料で福祉相談に応じます。秘密は守られますので安心して相談ください。

■日時／1月27日(火)13:30～15:00

■場所／社会福祉センター

■相談員／民生委員(中野・永堀・大平)

■問い合わせ／☎52-7752

寄付・寄贈ありがとうございます(9月～11月分)

【寄付金】▼一般寄付／乙戸稔さん100,000円〔心和園へ〕、(匿名)30,000円〔心和園へ〕、佐藤武志さん(千歳市)22,510円〔法人本部へ〕、トライベツ自治会(チャリティ益金を)47,800円〔法人本部へ〕▼特別寄付／(匿名)300,000円

【寄贈品】▼法人本部に／(株)近海食品～古切手、佐藤武志さん～古切手・心和園に／富田英さん(トライベツ)～大根ほか季節野菜、釧路太田ふれあい農園協議会～大根・かぼちゃ、苫多女性部～昆布・タオル、中島賢さん(白浜)～紙おむつ・古布、門静女性部～ティッシュ・古布、(匿名)～車いすほか介護用品

今月の社協の出来事

小さな訪問者

11月18日、厚岸町社協に小さな訪問者たちがやってきた。厚岸小学校の2年生で「社会福祉センターの仕事」を調べる授業の一環でしたが、「社協のしごとは？」の答えは、「みんなの幸せのお手伝い」ですよ。

